

2022.8.20 将棋講座 第5回

# 究極の選択～二択～

判断に迷った時の対処法その2です。

将棋の局面がゆるやかな時は以前紹介した「次の一手を3つにしぼる」が有効です。

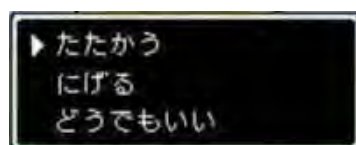
●将棋で次の一手が分からないときはとりあえず3つの手の候補を作る

将棋で次の一手を考えると、直感で正解見つけられる場合はいいですが、何を指したらいいかわからない場合の役立つ考え方です。難しい局面で次の手を3つ見つける練習をしてみましょう。

20211016 講座



ですが終盤などで持ち時間がなくなってきた時はその余裕がない！という事もあると思います。その場合には「二択で考える」方法が有効です。



例えば、序盤なら歩を突っかけられた時、「取る」「取らない」の二択で考えることができます。他にも攻める時は「仕掛ける」「仕掛けない」の二択、守るときは「受けに回る」「攻めあう」の二択で考えることもできます。

中盤なら駒を「取る」「取らない」の二択。飛車を敵陣に「打つ」「打たない」の二択。

終盤なら王手をかけられて「上に逃げる」「下に逃げる」の二択。

最終版では「詰ましに行く」「詰ましに行かない」の二択。

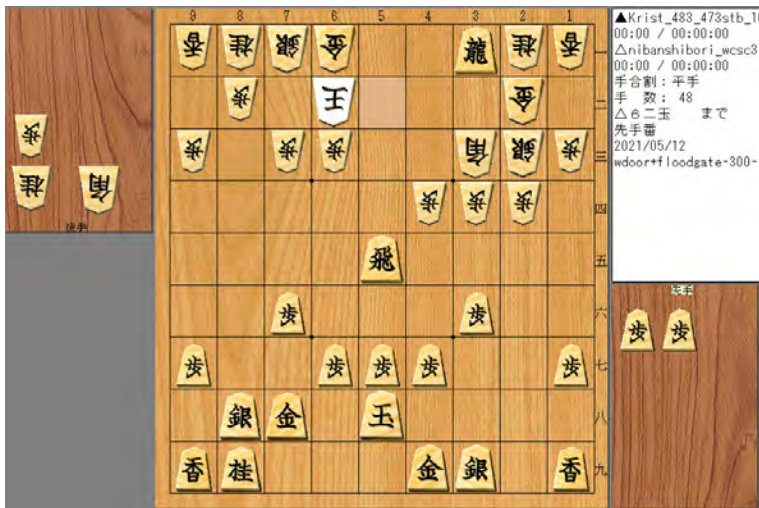
このようにすべて二択に落とし込むことができる。

将棋は各局面における可能な指し手が約80通りあると言われます。

しかし二択で考えることにより複雑な将棋をシンプルに考えることができます。

実例をみていきましょう。

●上から攻めるか下から攻めるか



左図は後手が△6二玉と逃げた局面。  
先手が攻めを続けるには？

●取るか逃げるか



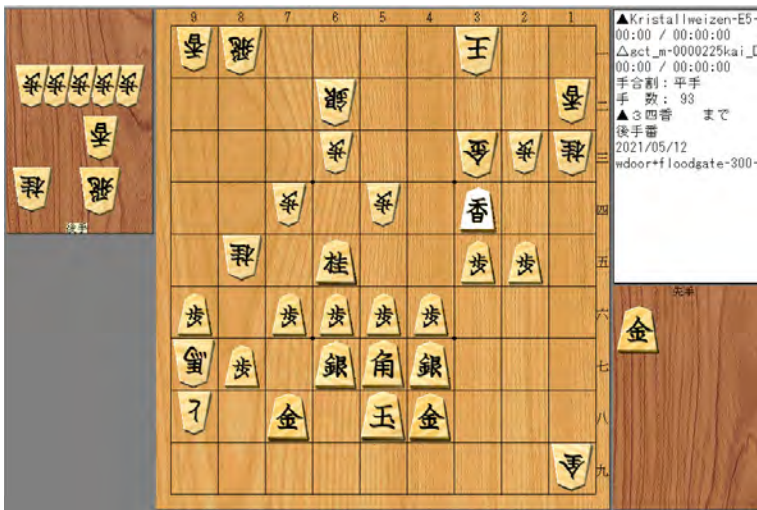
左図は後手の手を考えてください。  
王手をかけられているので、この場  
合、取るか逃げるかの二択しかあり  
ません。

●駒得か速度か



左図も後手の手を考えてください。  
これも王手をかけられているので取  
るか逃げるかの二択。逃げる手は▲  
3一玉が安全でしょう。金を取ります  
か？逃げますか？

●攻め駒を取るかだまって受けるか



左図も後手の手番。  
香を打たれてさすがに受けなければ  
ならない。受け方が問題。

●取るか逃げるか



左図も後手の手盤。だまっていると  
銀を取られるので歩を取るか銀を逃  
げるか。先手の狙いを見破ってくだ  
さい。

悩んでいるときは案外二択で道が開けることも多い